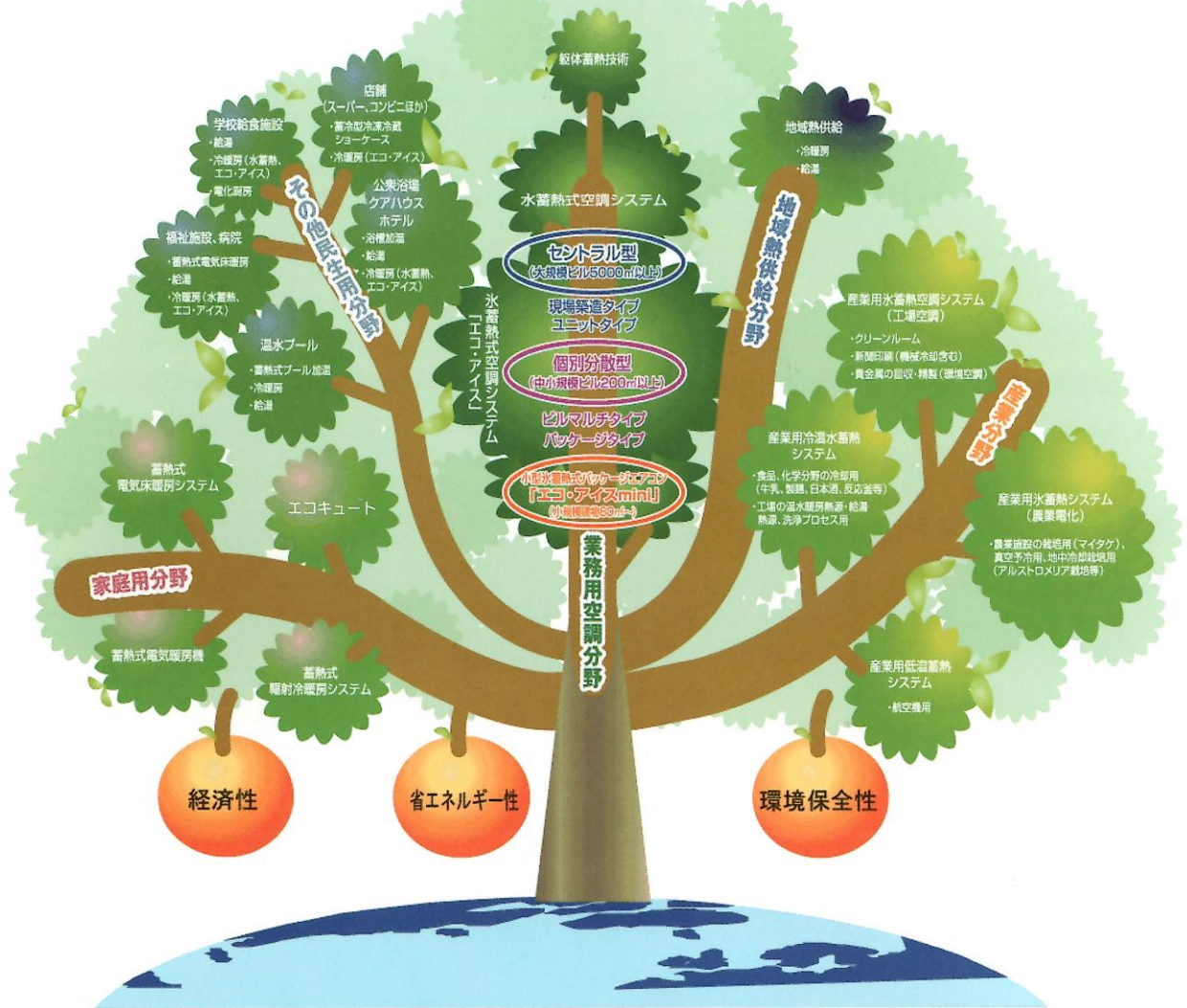


ひまわりヒートポンプ・蓄熱推進協議会

2000～2009のあゆみ

蓄熱のひろがり



2006

第3回ぐんま蓄熱セミナー 「富士オート株式会社 本社ビル省エネルギー改修工事」

講師

富士オート株式会社 取締役 資産管理部長
真塩 裕二様



富士オート株式会社
取締役 資産管理部長
真塩 裕二 様

ぐんま蓄熱のつどいが十年目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

さて当社の富士オート本社ビルは、平成15年当時、竣工後22年が経過していたため、設備の老朽化による「エネルギー効率の低下」や「ランニングコストの増加」、「設備の長期信頼性の低下」などが顕在化しておりました。そこで私共グループ会社がエネルギーを消費し、CO₂を排出する自動車販売業を営む背景において、「省エネルギーや環境保全に配慮した店づくり」を最重要テーマとして取り上げました。

具体的には電力の平準化、深夜電力を利用した蓄熱システム（大温度差水蓄熱式空調システム）を主軸にして、人感センサー、高効率照明の採用等考えられるあらゆる角度から省エネルギーに取り組みました。

工事完了後は、運用面に於いては目標の省エネルギー率を実現する為に、Building Energy Management System（ビルエネルギー管理システム）によるデータ収集を行い、検討、計画、実施のPDCAサイクルを重ね、試行錯誤の結果、初年度に於いて目標を達成することが出来ました。

当時感じたことは、省エネルギーの実現は、単に設備改修だけでは十分ではなく、施工業者、管理会社、利用者、相互の協力が不可欠であった事です。次年度以降は、そのノウハウを活かし、現在に至るまで毎年コンスタントに約35%のCO₂削減が実現でき、経済性については45%以上の経費の削減に結びついています。

当社のこれまでの省エネルギーの取り組みに対して、ぐんまヒートポンプ・蓄熱推進協議会様をはじめ各種団体より表彰を頂き、また新聞や会報等にも掲載をして頂く等ご評価頂き、大変意義深く感じられました。富士オート本社ビルの省エネルギー化を機に、グループ会社の拠点の省エネルギーにも着手し、平成17年に富士スバル伊勢崎日乃出店、同19年には渋川店の水蓄熱十床暖房躯体蓄熱システムの導入を致しました。

今後もヒートポンプ・蓄熱を軸とした省エネルギー化に取り組み、CO₂の削減並びに環境保全に対し貢献して行きたいと考えております。

富士オート株式会社様は、本社ビル設備の老朽化熱需要の増加により、エネルギー効率の低下ならびにランニングコストの増加・長期信頼性の低下・安全性などを懸念されており、省エネ・環境保全等地球環境時代に相応しい省エネルギーシステムによる全面改修に踏み切りました。

その際に、大温度差全蓄熱槽空調システムとガス吸収式システムとの比較検討をされ、実際の導入効果について第3回蓄熱セミナーにおいて発表して頂きました。



第4回ぐんま蓄熱セミナー 「最近のエネルギー問題を取り巻く状況とヒートポンプ蓄熱システム」

講師

財団法人ヒートポンプ・蓄熱センター業務部長
石田 浩一様



2008

第5回ぐんま蓄熱セミナー

「蒸気圧縮式ヒートポンプの技術開発動向

～特にエコキュートの省エネ性及びCO₂削減効果について～

講師

財団法人電力中央研究所エネルギー技術研究所
エネルギー変換工学領域 主任

橋本 克己様



第7回ぐんま蓄熱のつどい

講演「メリ・ハリ・ツツコミ講談人生」

講師

講師 神田 紅様



第8回ぐんま蓄熱のつどい

講演「環境の世紀のライフスタイルを考える」

講師

フリーキャスター 福島 敦子様



第9回ぐんま蓄熱のつどい

講演「断熱とヒートポンプが支える温暖化防止技術」

講師

東京大学大学院工学系研究科建築学専攻
教授 坂本 雄三様



電力
工事 マンスリー

2009年/ vol.1

創刊号



1	「あかりの日」の由来
2	「あかりの日」の意義
3	「あかりの日」の活動
4	「あかりの日」の未来
5	「あかりの日」の歴史
6	「あかりの日」の現状
7	「あかりの日」の課題
8	「あかりの日」の展望
9	「あかりの日」のまとめ
10	「あかりの日」の感想

会員の 皆様へ



エコミニ 通信

～月に一度、カタログの送付とともに、
各種セミナーのご案内など、皆様への
情報をお届けしています。～